

NEC iStorageシリーズ iStorage NS500Ba

7

故障かな？と思ったときは

装置の運用および保守について説明します。

「日常の保守」(208ページ)

日常使う上で確認しなければならない点やファイルの管理、クリーニングの方法について説明します。

「障害時の対処」(213ページ)

故障かな？と思ったときに参照してください。トラブルの原因の確認方法やその対処方法について説明しています。

「オペレーティングシステム (OS) の再インストール」(237ページ)

システムの障害により、再インストールが必要となった場合にお読みください。

「移動と保管」(240ページ)

本体を移動・保管する際の手順や注意事項について説明します。

「ユーザーサポート」(242ページ)

本製品に関するさまざまなサービスについて説明します。サービスはNEC、およびNECが認定した保守サービス会社から提供されるものです。ぜひご利用ください。

日常の保守

ブレードサーバを常にベストな状態でお使いになるために、ここで説明する確認や保守を定期的に行ってください。万一、異常が見られた場合は、無理な操作をせずに保守サービス会社に保守を依頼してください。

アップデートの確認・適用

iStorage NSシリーズでは、本体および周辺機器のBIOS、FW（ファームウェア）、ドライバなどのアップデート情報を弊社Webサイトの以下のページに掲載しています。システムの安定稼働のため、常に最新のアップデートを適用いただくことをお勧めいたします。

[iStorage NS サポート情報] <http://support.express.nec.co.jp/istorage/index.php>

なお、本体のBIOS、FW（ファームウェア）につきましては、適用が必要なアップデートの検出・ダウンロード・適用をサポートするツール「ExpressUpdate」も提供しています。「ExpressUpdate」は、本体添付の「EXPRESSBUILDER」内に格納されています。



- 最新アップデートのダウンロードおよび適用作業は、お客様自身で実施ください。
- 最新アップデートの適用にあたっては、万一の場合に備えて、適用前にデータをバックアップしておくことをお勧めいたします。

アラートの確認

システムの運用中は、ESMPROで障害状況を監視してください。
管理PC上のESMPRO/ServerManagerにアラートが通報されていないか、常に注意するよう心がけてください。ESMPRO/ServerManagerの「アラートビューア」でアラートが通報されていないかチェックしてください。

ESMPROでチェックする画面



[ESMPRO/ServerManager]



[アラートビューア]

ステータスランプの確認

ブレードサーバの電源をONにした後、およびシャットダウンをしてブレードサーバの電源をOFFにする前に、CPUブレード前面にあるランプやCPUブレードに搭載しているハードディスクドライブのランプの表示を確認してください。ランプの機能と表示の内容については「ハードウェア編」の「各部の名称と機能」をご覧ください。万一、CPUブレードや各デバイスの異常を示す表示が確認された場合は、保守サービス会社に連絡して保守を依頼してください。

バックアップ








定期的にブレードサーバのハードディスクドライブ内の大切なデータをバックアップすることをお勧めします。ブレードサーバに最適なバックアップ用ストレージデバイスやバックアップツールについてはお買い求めの販売店にお問い合わせください。

ハードウェアの構成を変更したり、BIOSの設定を変更したりした後は、オフライン保守ユーティリティの「システム情報の管理」機能を使ってシステム情報のバックアップをとってください（61ページを参照）。

ディスクアレイを構築しているシステムでは、ディスクアレイのコンフィグレーション情報のバックアップをとっておいてください。また、ハードディスクドライブの故障によるリビルドを行った後もコンフィグレーション情報のバックアップをとっておくことをお勧めします。コンフィグレーション情報のバックアップについては、ボードに添付の説明書を参照してください。

クリーニング

装置を良い状態に保つために定期的にクリーニングしてください。

 警告	
     	<p>装置を安全にお使いいただくために次の注意事項を必ずお守りください。人が死亡する、または重傷を負うおそれがあります。詳しくは、iii ページ以降の説明をご覧ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 自分で分解・修理・改造はしない ● プラグを差し込んだまま取り扱わない

本体のクリーニング

ブレード収納ユニットの外観の汚れは、柔らかい乾いた布で汚れを拭き取ってください。汚れが落ちにくいときは、次のような方法できれいになります。



- シンナー、ベンジンなどの揮発性の溶剤は使わないでください。材質のいたみや変色の原因になります。
- コンセント、ケーブル、ブレード収納ユニットに搭載しているデバイス、ブレード収納ユニット内部は絶対に水などでぬらさないでください。

1. ブレード収納ユニットの電源がOFF（POWERランプ消灯）になっていることを確認する。
2. ブレード収納ユニットの電源コードをコンセントから抜く。
3. 電源コードの電源プラグ部分についているほこりを乾いた布でふき取る。

4. 中性洗剤をぬるま湯または水で薄めて柔らかい布を浸し、よく絞る。
5. ブレード収納ユニットの汚れた部分を手順4の布で少し強めにこすって汚れを取る。
6. 真水でぬらしてよく絞った布でもう一度ふく。
7. 乾いた布でふく。
8. 乾いた布で装置背面にあるファンの排気口に付着しているほこりをふき取る。

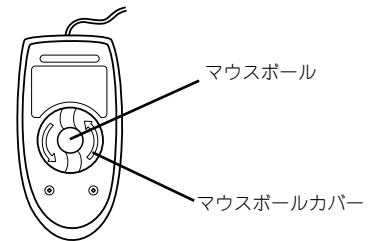
キーボード/マウスのクリーニング

キーボードは本体および周辺機器を含むシステム全体の電源がOFF（POWERランプ消灯）になっていることを確認した後、キーボードの表面を乾いた布で拭いてください。

マウスが正常に機能するためには、内部のマウスボールがスムーズに回転できる状態でなければなりません。マウスボールの汚れを防ぐためにほこりの少ない場所で使用して、定期的な次の手順でクリーニングしてください。

1. 本体の電源がOFF（POWERランプ消灯）になっていることを確認する。

2. マウスを裏返してマウスボールカバーを反時計回りに回して中からマウスボールを取り出す。

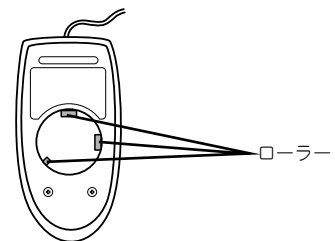


3. マウスボールを乾いた柔らかい布などでふいて、汚れを取り除く。

汚れがひどいときはぬるま湯、または水で薄めた中性洗剤を少量含ませてふいてください。

4. マウス内部にある3つの小さなローラを綿棒などでふく。

汚れがひどいときはアルコールなどを少量含ませてふいてください。



5. マウスボールをマウスの中に戻す。

手順3、4でマウスボールやローラをぬらした場合は、十分に乾燥させてからボールを入れてください。

6. マウスボールカバーを元に戻して、時計回りに回してロックする。

CD-ROM/DVD-ROMのクリーニング

CD-ROM/DVD-ROMにほこりがついていたり、トレイにほこりがたまっていたりするとデータを正しく読み取れません。次の手順に従って定期的にトレイ、CD-ROM/DVD-ROMのクリーニングを行います。

1. 本体の電源がON（POWERランプ点灯）になっていることを確認する。
2. 光ディスクドライブ前面のトレイエジェクトボタンを押す。
トレイが光ディスクドライブから出てきます。
3. CD-ROM/DVD-ROMを軽く持ちながらトレイから取り出す。



CD-ROM/DVD-ROMの信号面に手が触れないよう注意してください。

4. トレー上のほこりを乾いた柔らかい布でふき取る。

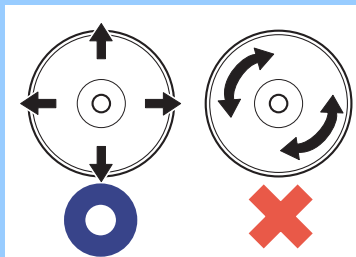


光ディスクドライブのレンズをクリーニングしないでください。レンズが傷ついて誤動作の原因となります。

5. トレーを軽く押してトレイを光ディスクドライブに戻す。
6. CD-ROM/DVD-ROMの信号面を乾いた柔らかい布でふく。



CD-ROM/DVD-ROMは、中心から外側に向けてふいてください。クリーナをお使いになるときは、CD-ROM/DVD-ROM専用のクリーナであることを確かめください。レコード用のスプレー、クリーナ、ペンジン、シンナーを使用すると、ディスクの内容が読めなくなったり、装置にそのディスクをセットした結果、故障したりするおそれがあります。



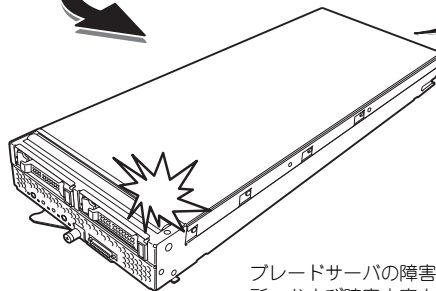
障害時の対処

「故障かな?」と思ったときは、ここで説明する内容について確認してください。該当することがある場合は、説明に従って正しく対処してください。

障害箇所の切り分け

万一、障害が発生した場合は、ESMPRO/ServerManagerを使って障害の発生箇所を確認し、障害がハードウェアによるものかソフトウェアによるものかを判断します。障害発生箇所や内容の確認ができれば、故障した部品の交換やシステム復旧などの処置を行います。

障害がハードウェア要因によるものかソフトウェア要因によるものかを判断するには、ESMPRO/ServerManagerが便利です。



ブレードサーバの障害発生箇所、および障害内容を確認

エラーメッセージ

ブレードサーバになんらかの異常が起きるとさまざまな形でエラーを通知します。ここでは、エラーメッセージの種類について説明します。

POST中のエラーメッセージ

CPUブレードの電源をONにすると自動的に実行される自己診断機能「POST」中に何らかの異常を検出すると、ディスプレイ装置の画面にエラーメッセージを表示します。

次にエラーメッセージの一覧と原因、その対処方法を示します。



保守サービス会社に連絡するときはディスプレイの表示をメモしておいてください。アラーム表示は保守を行うときに有用な情報となります。



POSTのエラーメッセージ一覧はCPUブレードのみのものです。CPUブレードに接続されているオプションのRAIDコントローラに搭載されているBIOSのエラーメッセージとその対処方法についてはオプションに添付のマニュアルを参照してください。

画面に表示されるエラーメッセージ

ディスプレイ上のエラーメッセージ		意 味	対処方法
0200	Failure Fixed Disk	ハードディスクドライブエラー	保守サービス会社に連絡してください。
0230	System RAM Failed at offset	システムRAM エラー	
0231	Shadow RAM Failed at offset	シャドウRAM エラー	
0232	Extended RAM Failed at address line	拡張RAM エラー	
0234	Single-bit ECC error	メモリ 1 ビットエラーが起きた。	
0235	Multiple-bit ECC error	メモリ複数ビットエラーが起きた。	
0250	System battery is dead Replace and run SETUP	システムのバッテリーがない。	保守サービス会社に連絡してバッテリーを交換してください。(システムを再起動後、SETUP を起動して設定し直してください。)
0251	System CMOS checksum bad Default configuration used	システムCMOS のチェックサムが正しくない。	デフォルト値が設定されました。SETUP を起動して、設定し直してください。それでも直らない場合は保守サービス会社に連絡してください。
0260	System timer error	システムタイマーエラー	保守サービス会社に連絡してください。
0270	Real timer error	リアルタイマーエラー	
0271	Check date and time setting	リアルタイムクロックの時刻設定に誤りがある。	SETUP を起動して、時刻を設定し直してください。設定し直しても同じエラーが続けて起きる時は保守サービス会社に連絡してください。
02D0	System cache error Cache disabled	システムキャッシュエラー	キャッシュを使用できません。保守サービス会社に連絡してください。
0B1B	PCI System Error on Bus/Device/Function	バス/ デバイス/ ファンクションでPCIシステムエラーが発生した。	保守サービス会社に連絡してください。
0B1C	PCI Parity Error on Bus/Device/Function	バス/ デバイス/ ファンクションでPCIパリティエラーが発生した。	
0B28	Unsupported Processor detected on Processor 1	プロセッサ 1 にサポートされてないプロセッサが搭載されている。	
0B29	Unsupported Processor detected on Processor 2	プロセッサ 2 にサポートされてないプロセッサが搭載されている。	
0B50	Processor #1 with error taken off Line	CPU#1 でエラーを検出した。CPU#1 を縮退した。	
0B51	Processor #2 with error taken off Line	CPU#2 でエラーを検出した。CPU#2 を縮退した。	
0B5F	Forced to use Processor with error	すべてのCPU でエラーを検出したため、強制的にCPU を起動している。	
0B60	DIMM group #1 has been disabled	DIMM group #1 でエラーを検出した。メモリを強制的に使用している。	
0B61	DIMM group #2 has been disabled	DIMM group #2 でエラーを検出した。メモリを強制的に使用している。	
0B62	DIMM group #3 has been disabled	DIMM group #3 でエラーを検出した。メモリを強制的に使用している。	
0B63	DIMM group #4 has been disabled	DIMM group #4 でエラーを検出した。メモリを強制的に使用している。	
0B64	DIMM group #5 has been disabled	DIMM group #5 でエラーを検出した。メモリを強制的に使用している。	
0B65	DIMM group #6 has been disabled	DIMM group #6 でエラーを検出した。メモリを強制的に使用している。	
0B66	DIMM group #7 has been disabled	DIMM group #7 でエラーを検出した。メモリを強制的に使用している。	

ディスプレイ上のエラーメッセージ		意 味	対処方法
0B67	DIMM group #8 has been disabled	DIMM group #8 でエラーを検出した。メモリを強制的に使用している。	保守サービス会社に連絡してください。
0B70	The error occurred during temperature sensor reading	温度異常を検出する途中にエラーを検出した。	
0B71	System Temperature out of the range	温度異常を検出した。	ファンの故障、またはファンの目詰まりが考えられます。保守サービス会社に連絡して保守を依頼してください。
0B74	The error occurred during voltage sensor reading	電圧異常を検出する途中にエラーを検出した。	保守サービス会社に連絡してください。
0B75	System Voltage out of the range	電圧エラーを検出した。	
0B78	The error occurred during fan sensor reading	ファンセンサのリード中にエラーを検出した。	
0B7C	The error occurred during redundant power module confirmation	冗長電源を構成している途中でエラーを検出した。	保守サービス会社に連絡してください。
0B80	BMC Memory Test Failed	BMC チップの故障	一度電源を OFF にして、起動し直してください。それでも直らない場合は保守サービス会社に連絡してください。
0B81	BMC Firmware Code Area CRC check failed		
0B82	BMC core Hardware failure		
0B83	BMC IBF or OBF check failed	BMC のアドレスへのアクセスに失敗した。	
0B8A	BMC SEL area full	システムイベントログを書き込める容量がない。	SETUP を起動して、「Server」メニューの「Event Log Configuration」で、「Clear All Error Logs」を選び、<Enter> キーを押してログを消去してください。
0B8B	BMC progress check timeout	BMC チェックを一時中断した。	一度電源を OFF にして、起動し直してください。それでも直らない場合は保守サービス会社に連絡してください。
0B8C	BMC command access failed	BMC コマンドアクセスに失敗した。	
0B8D	Could not redirect the console - BMC Busy -	コンソールリダイレクトができない (BMC ビジー)。	
0B8E	Could not redirect the console - BMC Error -	コンソールリダイレクトができない (BMC エラー)。	
0B8F	Could not redirect the console - BMC Parameter Error -	コンソールリダイレクトができない (BMC パラメータエラー)。	
0B90	BMC Platform Information Area corrupted	BMC チップの故障	一度電源を OFF にして、起動し直してください。それでも直らない場合は保守サービス会社に連絡してください。
0B91	BMC update firmware corrupted		
0B92	Internal Use Area of BMC FRU corrupted	シャーン情報を格納した SROM の故障。	FRU コマンド、および EMP 機能以外は使用できます。致命的な障害ではありませんが、一度電源を OFF にして、起動し直してください。それでも直らない場合は、保守サービス会社に連絡してください。
0B93	BMC SDR Repository empty	BMC チップの故障	一度電源を OFF にして、起動し直してください。それでも直らない場合は保守サービス会社に連絡してください。
0B94	IPMB signal lines do not respond	SMC (Satellite Management Controller) の故障。	IPMB 経由での SMC へのアクセス機能以外は使用できます。致命的な障害ではありませんが、一度電源を OFF にして、起動し直してください。それでも直らない場合は、保守サービス会社に連絡してください。

ディスプレイ上のエラーメッセージ		意 味	対処方法
0B95	BMC FRU device failure	シャーン情報を格納した SROM の故障	FRU コマンド、および EMP 機能以外は使用できます。致命的な障害ではありませんが、一度電源を OFF にして、起動し直してください。それでも直らない場合は、保守サービス会社に連絡してください。
0B96	BMC SDR Repository failure	BMC チップの故障	
0B97	BMC SEL device failure		
0B98	BMC RAM test error	BMC RAM のエラー	
0B99	BMC Fatal hardware error	BMC のエラー	
0B9A	Management controller not responding		
0B9B	Private I2C bus not responding	プライベート I2C バスより無応答。	
0B9C	BMC internal exception	BMC のエラー	
0B9D	BMC A/D timeout error		
0B9E	SDR repository corrupt	BMC のエラーまたは SDR のデータの破損。	
0B9F	SEL corrupt	BMC のエラーまたは SEL のデータの破損。	
0BB0	SMBIOS - SROM data read error	SROM データを正しく読めなかった。	一度電源を OFF にして、起動し直してください。それでも直らない場合は保守サービス会社に連絡してください。
0BB1	SMBIOS - SROM data checksum bad	SROM データのチェックサムが正しくない。	
0BD0	1st SMBus device address not acknowledged.	1st SMBus アクセスに対してデバイスが無応答である。	
0BD1	1st SMBus device Error detected.	1st SMBus アクセスに対してエラーを検出した。	
0BD2	1st SMBus timeout.	1st SMBus アクセスに対してタイムアウトが発生した。	
0BD3	2nd SMBus device address not acknowledged.	2nd SMBus アクセスに対してデバイスが無応答である。	
0BD4	2nd SMBus device Error detected.	2nd SMBus アクセスに対してエラーを検出した。	
0BD5	2nd SMBus timeout.	2nd SMBus アクセスに対してタイムアウトが発生した。	
0BD6	3rd SMBus device address not acknowledged.	3rd SMBus アクセスに対してデバイスが無応答である。	
0BD7	3rd SMBus device Error detected.	3rd SMBus アクセスに対してエラーを検出した。	
0BD8	3rd SMBus timeout.	3rd SMBus アクセスに対してタイムアウトが発生した。	
0BD9	4th SMBus device address not acknowledged.	4th SMBus アクセスに対してデバイスが無応答である。	
0BDA	4th SMBus device Error detected.	4th SMBus アクセスに対してエラーを検出した。	
0BDB	4th SMBus timeout.	4th SMBus アクセスに対してタイムアウトが発生した。	
0BDC	5th SMBus device address not acknowledged.	5th SMBus アクセスに対してデバイスが無応答である。	
0BDD	5th SMBus device Error detected.	5th SMBus アクセスに対してエラーを検出した。	
0BDE	5th SMBus timeout.	5th SMBus アクセスに対してタイムアウトが発生した。	
0BE8	IPMB device address not acknowledged.	IPMB アクセスに対してデバイスが無応答である。	
0BE9	IPMB device Error detected.	IPMB アクセスに対してエラーを検出した。	

ディスプレイ上のエラーメッセージ	意 味	対処方法
0BEA IPMB timeout.	IPMB アクセスに対してタイムアウトが発生した。	一度電源を OFF にして、起動し直してください。それでも直らない場合は保守サービス会社に連絡してください。
8100 Memory decreased in Size	メモリエラーが発生した。	保守サービス会社に連絡してください。
8450 Can't Read FRU on CPU Unit TypeI Mezanine	タイプ 1 メザニンカードの FRU が正しく読めない。	一度電源を OFF にして、起動し直してください。また、ブレード用タイプ 1 メザニンスロットに実装されているメザニンカードが正しく実装されているか確認してください。それでも直らない場合は保守サービス会社に連絡してください。
8451 Can't Read FRU on CPU Unit Typell Mezanine	タイプ 2 メザニンカードの FRU が正しく読めない。	一度電源を OFF にして、起動し直してください。また、ブレード用タイプ 2 メザニンスロットに実装されているメザニンカードが正しく実装されているか確認してください。それでも直らない場合は保守サービス会社に連絡してください。
All of the disks from your previous configuration are gone. If this is an unexpected message, then please power off your system and check your cables to ensure all disks are present. Press any key to continue, or 'C' to load the configuration utility.	接続されていたいくつかの物理デバイス、あるいは全ての物理デバイスが認識できない。	RAID コントローラおよび物理デバイスの接続状態を確認してください。それでも改善しない場合は保守サービス会社に連絡してください。
An enclosure was found that contains both SAS and SATA drives, but this controller does not allow mixed drive types in a single enclosure. Please correct the problem then restart your system. Press any key to continue, or 'C' to load the configuration utility.	同一エンクロージャに SAS ドライブと SATA ドライブが混在されている。	RAID コントローラの故障の可能性があります。保守サービス会社に連絡し RAID コントローラを交換してください。
Cache data was lost due to an unexpected power-off or reboot during a write operation, but the adapter has recovered. This could be due to memory problems, bad battery, or you may not have a battery installed. Press any key to continue or 'C' to load the configuration utility.	書き込み中の予期せぬ電源 OFF かリブートにより、キャッシュデータがロストした。	WebBIOSあるいは Universal RAID Utility からキャッシュモードを確認し、強制ライトバックとなっている場合は通常ライトバック、またはライトスルーに設定してください。それでも改善しない場合は保守サービス会社に連絡し RAID コントローラおよびバッテリーを交換してください。
Entering the configuration utility in this state will result in drive configuration changes. Press 'Y' to continue loading the configuration utility or please power off your system and check your cables to ensure all disks are present and reboot.	コンフィグレーションユーティリティ (WebBIOS) を起動すると、RAID コントローラ上の構成が変更される。	物理デバイスの接続状態を確認してください。それでも改善しない場合は、保守サービス会社に連絡し、RAID コントローラを交換してください。
Expansion Rom not initialize	PCI カードの拡張 ROM が初期化されない。	SETUP を起動して拡張 ROM 領域を使用する機能と PCI スロットの Option ROM 設定を Disabled にしてください。それでも直らない場合は、保守サービス会社に連絡してください。
Firmware version inconsistency was detected. The adapter has recovered, but cached data was lost. Press any key to continue, or 'C' to load the configuration utility.	ファームウェアバージョンの不整合により、キャッシュデータをロストした。	保守サービス会社に連絡してください。
Foreign configuration(s) found on adapter Press any key to continue, or 'C' to load the configuration utility.	RAID コントローラ上にないコンフィグレーションを検出した。	C キーを押してユーティリティを起動し、インポートするか、クリアしてください。

ディスプレイ上のエラーメッセージ	意 味	対処方法
Invalid memory configuration detected. Please contact your system support. System has halted.	RAID コントローラ上のメモリの構成が不正です。	保守サービス会社に連絡し RAID コントローラを交換してください。
Invalid SAS Address present in MFC data. Please program valid SAS Address, and re-start your system.	不正な SAS アドレスを検出した。	保守サービス会社に連絡してください。
Invalid SAS topology detected. Please check your cable configurations, repair the problem, and re-start your system.	SAS インタフェース上で不正な通信処理が検出された。	RAID コントローラの接続状態を確認してください。それでも改善しない場合は、保守サービス会社に連絡してください。
Invalid System Configuration Data	システムを構成しているデータが破壊されている。	保守サービス会社に連絡してください。
Memory/battery problems were detected. The adapter has recovered, but cached data was lost. Press any key to continue, or 'C' to load the configuration utility.	RAID コントローラ上のメモリまたはバッテリーのエラーによって、キャッシュデータがロストした。	保守サービス会社に連絡してください。
Multibit ECC errors were detected on the controller. DIMM on the controller needs replacement. If you continue, data corruption can occur. Press 'X' to continue or else power off the system and replace the DIMM module and re-boot. If you have replaced the DIMM please press 'X' to continue.	RAID コントローラ上のメモリでマルチビット ECC エラーを検出した。	保守サービス会社に連絡し RAID コントローラを交換してください。
Multiple Single-bit ECC errors were detected during the previous boot of the controller. DIMM on the controller needs replacement. If you continue, data corruption can occur. Press 'X' to continue or else power off the system and replace the DIMM module and re-boot. If you have replaced the DIMM please press 'X' to continue.	RAID コントローラ上のメモリでシングルビット ECC エラーを検出した。	保守サービス会社に連絡し RAID コントローラを交換してください。
Previous configuration cleared or missing Importing configuration created on MM/DD hh:mm Press any key to continue, or 'C' to load the configuration utility.	コンフィグレーションがクリアされたか見つからないため、MM/DD hh:mm のコンフィグレーションをインポートした。	保守サービス会社に連絡してください。
RAID Adapter FW Failed Validation!!! Adapter needs to be re-flashed. Press any key to continue.	RAID コントローラ上のファームウェアが異常です。	保守サービス会社に連絡し RAID コントローラを交換してください。
Resource Conflict	PCI カードのリソースが正しくマッピングされていない。	保守サービス会社に連絡してください。
SAS drives were detected, but this controller does not support SAS drives. Please remove the SAS drives then restart your system. Press any key to continue, or 'C' to load the configuration utility.	SAS ドライブをサポートしていない。	RAID コントローラの故障の可能性があります。保守サービス会社に連絡し RAID コントローラを交換してください。

ディスプレイ上のエラーメッセージ	意 味	対処方法
SATA drives were detected, but this controller does not support SATA drives. Please remove the SATA drives then restart your system. Press any key to continue, or 'C' to load the configuration utility.	SATA ドライブをサポートしていない。	RAID コントローラの故障の可能性があります。保守サービス会社に連絡し RAID コントローラを交換してください。
Single-bit overflow ECC errors were detected during the previous boot of the controller. DIMM on the controller needs replacement. If you continue, data corruption can occur. Press 'X' to continue or else power off the system and replace the DIMM module and reboot. If you have replaced the DIMM please press 'X' to continue.	RAID コントローラ上のメモリでシングルビット ECC エラーを多数検出した。	保守サービス会社に連絡し RAID コントローラを交換してください。
Some configured disks have been removed from your system, or are no longer accessible. Please check your cables and also ensure all disks are present. Press any key to continue, or 'C' to load the configuration utility.	接続されていたいくつかの物理デバイス、あるいは全ての物理デバイスが認識できない。	RAID コントローラおよび物理デバイスの接続状態を確認してください。それでも改善しない場合は保守サービス会社に連絡してください。
System Configuration Data Read error	システムを構成しているデータのリードエラー。	保守サービス会社に連絡してください。
System Configuration Data Write Error	システムを構成しているデータのライトエラー。	保守サービス会社に連絡してください。
The battery hardware is missing or malfunctioning, or the battery is unplugged. If you continue to boot the system, the battery-backed cache will not function. Please contact technical support for assistance. Press 'D' to disable this warning (if your controller does not have a battery).	バッテリーが未接続、またはバッテリーが認識できない。	「D」キーを押して本メッセージを非表示にしてください。
The cache contains dirty data, but some VD's are missing or will go offline, so the cached data can not be written to disk. If this is an unexpected error, then please power off your system and check your cables to ensure all disks are present. If you continue, the data in cache will be permanently discarded. Press 'X' to acknowledge and permanently destroy the cached data.	VD が認識できないか、またはオフラインであるため、キャッシュデータを物理デバイスに書き込めない。	物理デバイスの接続状態を確認してください。それでも改善しない場合は保守サービス会社に連絡してください。 ※「X」キーを押すとキャッシュデータはロストします。

ディスプレイ上のエラーメッセージ	意 味	対処方法
<p>The following VD's are missing: xx If you proceed (or load the configuration utility), these VD's will be removed from your configuration. If you wish to use them at a later time, they will have to be imported. If you believe these VD's should be present, please power off your system and check your cables to ensure all disks are present. Press any key to continue, or 'C' to load the configuration utility.</p>	<p>接続されたいくつかの物理デバイス、あるいは全ての物理デバイスが認識できない。</p>	<p>RAID コントローラおよび物理デバイスの接続状態を確認してください。それでも改善しない場合は保守サービス会社に連絡してください。</p>
<p>The following VD's have missing disks: xx If you proceed (or load the configuration utility), these VD's will be marked OFFLINE and will be inaccessible. Please check your cables and ensure all disks are present. Press any key to continue, or 'C' to load the configuration utility.</p>		
<p>WARNING: IRQ not configured</p>	<p>PCI カードの割り込みが正しく設定されていない。</p>	<p>保守サービス会社に連絡してください。</p>
<p>Your VD's that are configured for write-back are temporarily running in write-through mode. This is caused by the battery being charged, missing, or bad. Please allow battery to charge for 24 hours before evaluating battery for replacement. The following VD's are affected RFXx Press any key to continue.</p>	<p>バッテリーが充電不十分、未接続、あるいは故障によりVDxx をライトスルーモードに変更した。 xx: 該当するVD の番号</p>	<p>N8403-026 RAID コントローラには増設バッテリーのオプションがありませんので、本メッセージが表示されても問題はありません。</p>



「Expansion Rom not Initialized」メッセージは拡張ROM領域の不足が原因で表示される場合があります。以下の項目のうち使用頻度の最も低い機能を Disabled にしてください。

- On board LAN 1/On board LAN 2
- PCI slot1

ランプによるエラーメッセージ

CPUブレードやドライブキャリア（ハードディスクドライブ）、ブレード収納ユニットにあるランプはさまざまな状態を点灯、点滅、消灯によるパターンや色による表示でユーザーに通知します。「故障かな？」と思ったらランプの表示を確認してください。ランプ表示とその意味については「ハードウェア編」の13ページをご覧ください。

Windowsのエラーメッセージ

起動後に致命的なエラー（STOPエラーやシステムエラー）が起きるとディスプレイ装置の画面がブルーに変わり、エラーに関する詳細なメッセージが表示されます。

```
*** STOP: 0x0000000A (0x00000074, 0x00000002, 0x00000001, 0x80108E7A)
IRQL_NOT_LESS_OR_EQUAL*** Address 80108E7A has base at 8010000 _ ntoskrnl.exe
```

画面に表示されたメッセージを記録して保守サービス会社に連絡してください。

また、このエラーが起きると自動的にメモリダンプを実行し任意のディレクトリにメモリダンプのデータを保存します。のちほど保守サービス会社の保守員からこのデータを提供していただくよう依頼される場合があります。MOやDATなどのメディアにファイルをコピーしての保守員に渡せるよう準備しておいてください。



重要

STOPエラーやシステムエラーが発生しシステムを再起動したとき、仮想メモリが不足していることを示すメッセージが表示されることがありますが、そのまま起動してください。



チェック

このファイルをメディアにコピーする前に、イベントビューアを起動して、システムイベントログでSave Dumpのイベントログが記録され、メモリダンプが保存されたことを確認してください。

このほかにもディスクやネットワーク、プリンタなど内蔵デバイスや周辺機器にエラーが起きた場合にも警告メッセージが表示されます。メッセージを記録して保守サービス会社に連絡してください。

サーバ管理アプリケーションからのエラーメッセージ

ESMPRO/ServerAgent やESMPRO/ServerManager、GAMServerなどの管理ツールを本装置や管理PCへインストールしておく、何らかの障害が起きたときに管理PCや本体に接続しているディスプレイ装置から障害の内容を知ることができます。

各種アプリケーションのインストールや運用方法についてはソフトウェア編、またはオンラインドキュメントを参照してください。

ESMPROを使ったシステム構築や各種設定の詳細についてはオンラインヘルプで詳しく説明されています。

トラブルシューティング

システムが思うように動作しない場合は修理に出す前に次のチェックリストの内容に従って本装置をチェックしてください。リストにある症状に当てはまる項目があるときは、その後の確認、処理に従ってください。

それでも正常に動作しない場合は、ディスプレイ装置の画面に表示されたメッセージを記録してから、保守サービス会社に連絡してください。

ブレードサーバについて

【?】電源がONにならない

- ☐ 電源がシステムに正しく供給されていますか？
 - 電源コードがブレード収納ユニットの電源規格に合ったコンセント（またはUPS）に接続されていることを確認してください。
 - ブレード収納ユニットに添付の電源コードを使用してください。また、電源コードの被覆が破れていたり、プラグ部分が折れていたりしていないことを確認してください。
 - 接続したコンセントのブレーカがONになっていることを確認してください。
 - UPSに接続している場合は、UPSの電源がONになっていること、およびUPSから電力が出力されていることを確認してください。詳しくはUPSに添付の説明書を参照してください。
 - CPUブレードが正しく取り付けられていることを確認してください。
また、CPUブレードのBIOSセットアップユーティリティでUPSとの電源連動機能の設定ができます。
<確認するメニュー：「Server」メニューにある「AC-LINK」>
- ☐ 必要な数の電源ユニットがブレード収納ユニットに搭載されていますか？
 - 必要な電源ユニット数についてはブレード収納ユニットに添付のユーザズガイドを参照してください。
- ☐ EMカードの初期化は完了していますか？
 - EMカードの初期化が完了していないと、電源ユニットからCPUブレードへの電源供給は行われません。
- ☐ ブレード収納ユニットのファンが、必要な数量・正しい位置に実装されていますか？
 - 必要な数量・実装位置については、ブレード収納ユニットのユーザズガイドを参照してください。
- ☐ ブレード収納ユニット内に、CPUブレード(含むメザニンカード)とスイッチモジュールが正しい位置関係で実装されていますか？
 - 正しい位置関係については、ブレード収納ユニットのユーザズガイドを参照してください。

- CPUブレードへの電源供給開始後、30秒以内に電源ON操作を行っていませんか？
 - CPUブレードへの電源供給開始後、BMC初期化を約30秒間行います。CPUブレードへの電源供給を確認後(CPUブレードのPOWERランプがアンバー色に点灯後)、30秒以上経過してから、POWERスイッチにて電源ONを行ってください。
- CPUブレードへの電源供給開始直後は、スロット番号の大きなCPUブレードほど、電源ONが遅くなります。
 - CPUブレードへの電源供給開始後、BMC初期化を約30秒間行います。この直後に、電源ONを行う場合、(スロット番号-1)*2秒の待機時間が挿入される為、スロット番号の大きなCPUブレードほど、電源ONが遅くなります。
- CPUブレードへの電源ON操作から電源がONするまで、時間がかかる場合があります。
 - CPUブレードの電源ON操作を行うとCPUブレードはEMカードと通信し、電源ONの許可を得てから、電源ONを行います。EMカードが他の処理でビジーの為に、通信に時間がかかる場合、電源ONが遅くなります。

[?] ネットワークを介したリモートパワーオンが機能しない (Wake On LANが機能しない)

- 強制電源OFFをしていませんか？
 - 強制電源OFF (CPUブレードのPOWERスイッチを4秒以上押し続けてCPUブレードを強制的に電源OFFにする機能) の後は、Wake On LANは機能しません。いったんCPUブレードを起動した後、通常のシャットダウン処理を行ってください。

[?] 電源がOFFにならない

- POWERスイッチ抑止機能を有効にしていませんか？
 - いったんCPUブレードを再起動して、BIOSセットアップユーティリティを起動してください。
 <確認するメニュー: 「Security」→「Power Switch Inhibit」>

[?] POSTが終わらない

- メモリが正しく搭載されていますか？
 - DIMMが正しく搭載されていないと動作しません。
- 大容量のメモリを搭載していますか？
 - 搭載しているメモリサイズによってはメモリチェックで時間がかかる場合があります。しばらくお待ちください。
- CPUブレードの起動直後にキーボードやマウスを操作していませんか？
 - 起動直後にキーボードやマウスを操作すると、POSTは誤ってキーボードコントローラの異常を検出し、処理を停止してしまうことがあります。そのときはもう一度、起動し直してください。また、再起動直後は、BIOSの起動メッセージなどが表示されるまでキーボードやマウスを使って操作しないよう注意してください。
- CPUブレードで利用できるメモリ・PCIデバイスを搭載していますか？
 - 弊社が指定する機器以外は動作の保証はできません。

【?】「System Configuration Data Read Error」が表示され、画面が停止する

- ☐ POST中に以下の行為をしましたか？
 - CPUブレードのPOWERボタンを押し、CPUブレードを強制電源OFFした。
 - CPUブレードのRESETボタンを押し、ハードウェアリセットを行った。
 - CPUブレードをブレード収納ユニットから取り外した。
 - ブレード収納ユニットの電源コードを抜く。
- 保守サービス会社に連絡してください。

【?】CPUブレードに標準装備のLANのMACアドレスがわからない

- CPUブレードのMP接続用コネクタ付近に貼られているラベルで確認できません。詳しくは30ページを参照してください。

【?】内蔵デバイスや外付けデバイスにアクセスできない（または正しく動作しない）

- ☐ ケーブルは正しく接続されていますか？
 - インタフェースケーブルや電源ケーブル（コード）が確実に接続されていることを確認してください。また接続順序が正しいかどうか確認してください。
- ☐ 電源ONの順番を間違っていないですか？
 - 外付けデバイスを接続している場合は、外付けデバイス、CPUブレードの順に電源をONにします。
- ☐ ドライバをインストールしていますか？
 - 接続したオプションのデバイスによっては専用のデバイスドライバが必要な場合があります。デバイスに添付の説明書を参照してドライバをインストールしてください。
- ☐ BIOSの設定を間違えていませんか？
 - PCIデバイスを接続している場合は、CPUブレードのBIOSセットアップユーティリティでPCIデバイスの割り込みやその他の詳細な設定をしてください。（PCIデバイスについては通常、特に設定を変更する必要はありませんが、ボードによっては特別な設定が必要なものもあります。詳しくはボードに添付の説明書を参照して正しく設定してください。）
＜確認するメニュー：「Advanced」→「PCI Device」→「PCI IRQ xx」、
「Advanced」→「PCI Configuration」→「PCI Slot 1 Option ROM」＞
 - シリアルポートやUSBポートに接続しているデバイスについては、I/Oポートアドレスや動作モードの設定が必要なものもあります。デバイスに添付の説明書を参照して正しく設定してください。
＜確認するメニュー：「Advanced」→「Peripheral Configuration」、
「Server」→「Console Redirection」＞

【?】 キーボードやマウスが正しく機能しない

- ☐ BIOSの設定を間違えていませんか?
 - CPUブレードのBIOSセットアップユーティリティでキーボードの機能を変更したり、マウスを無効にしたりすることができます。BIOSセットアップユーティリティで設定を確認してください。
<確認するメニュー: 「Advanced」→「Peripheral Configuration」、
「Advanced」→「NumLock」>
- ☐ SSU経由で106キーボードを接続していませんか?
 - SSU経由で106キーボードを接続し、システムのインストールを行うと106キーボードが101キーボードとして認識され、システムに登録されることがあります。35ページを参照してアップデートを行ってください。

【?】 ハードディスクドライブにアクセスできない（ディスクアレイで構成されているハードディスクドライブについてはRAIDコントローラに添付の説明書を参照）

- ☐ 本装置で利用できるハードディスクドライブですか?
 - NECが指定する機器以外は動作の保証はできません。
- ☐ ハードディスクドライブは正しく取り付けられていますか?
 - ドライブキャリアをブレード収納ユニットにしっかりと押し込んでドライブキャリアのレバーで確実に固定してください。取り付けが不完全な状態では、内部のコネクタに接続されません。

【?】 OS をインストールできない

(N8403-026 RAIDコントローラ実装時)

- ☐ バーチャルディスクを作成しましたか?
 - Web BIOSを使ってバーチャルディスクを作成してください。

[?] OSを起動できない

- ☐ BIOSで正しく設定されていますか？
 - CPUブレードのBIOSセットアップユーティリティで起動デバイスの設定を確認してください。
 - ＜確認するメニュー：「Boot」＞
- ☐ フロッピーディスクをセットしていませんか？
 - フロッピーディスクを取り出して再起動してください。

(N8403-026 RAIDコントローラ実装時)

- ☐ RAIDコントローラがまっすぐ奥までHDD接続用インタフェースカード用コネクタに実装されていますか？
 - 正しく実装してください。

上記の処置を実施しても認識されない場合は、RAIDコントローラの故障が考えられます。契約されている保守サービス会社、または購入された販売店へ連絡してください。

(N8403-026 RAIDコントローラ実装時)

- ☐ 物理デバイスが奥まで、しっかり実装されていますか？
 - 正しく実装してください。

上記の処置を実施しても認識されない場合は、物理デバイスの故障が考えられます。契約されている保守サービス会社、または購入された販売店へ連絡してください。

[?] プロセッサ（CPU）を増設後、起動するたびにイベントログが表示される

- オプションのCPUの中には異なるレビジョンのものが含まれている場合があります。異なるレビジョンのCPUを混在して取り付けした場合、Windowsではイベントビューアのシステムログに以下のようなログが表示されますが、動作には問題ありません。



【?】インストール中、テキストベースのセットアップ画面で、文字化けしたメッセージが表示され、インストールが続行できない

- ☐ 複数のハードディスクドライブを接続したり、RAIDコントローラ配下に複数のシステムドライブを作成してインストールを行っていませんか？
 - OSをインストールするハードディスクドライブ以外のハードディスクドライブをいったん取り外した状態でインストールを行ってください。
 - RAIDコントローラ配下のディスクにインストールする場合は、システムドライブを複数作成せず、1つだけ作成してインストールを行ってください。複数のシステムドライブを作成する場合は、インストール完了後、ディスクアレイのコンフィグレーションユーティリティを使用して追加作成してください。

【?】フロッピーディスクを外付フロッピーディスクドライブ（USB接続）にセットしているのに、「フロッピーディスクの準備ができていません」というメッセージが表示される

【?】ライトプロテクトをしていないフロッピーディスクを外付フロッピーディスクドライブ（USB接続）にセットしているのに、「フロッピーディスクが書き込み禁止状態です」というメッセージが表示される

- ☐ 故障ではありません。
 - リトライしてください（何度かリトライが必要な場合もあります）。

【?】ハードディスクを使用していないのに、頻繁にDISKアクセスランプが点灯する

(N8403-026 RAIDコントローラ実装時)

- ☐ ハードディスクを使用していないのに、頻繁にDISKアクセスランプが点灯することがあります。
 - パトロールリードが動作した場合、特に使用していない状態でもDISKアクセスランプが点滅します。なお、SATAの物理デバイスを使用している場合、DISKアクセスランプが点灯状態となる場合があります。

【?】リビルドが実行できない

(N8403-026 RAIDコントローラ実装時)

- ☐ リビルドする物理デバイスの容量が少なくありませんか？
 - 故障した物理デバイスと同じか、もしくは大きい容量の物理デバイスを使用してください。

(N8403-026 RAIDコントローラ実装時)

- ☐ バーチャルディスクのRAIDレベルが、RAID0ではありませんか？
 - RAID0には冗長性がないためリビルドができません。故障した物理デバイスを交換して、再度バーチャルディスクを作成してください。

【?] 整合性チェックが実行できない

(N8403-026 RAIDコントローラ実装時)

- ☐ バーチャルディスクが「Degraded」になっていませんか？
 - 故障している物理デバイスを交換し、リビルドを実施してください。

(N8403-026 RAIDコントローラ実装時)

- ☐ バーチャルディスクのRAID レベルが、RAID0ではありませんか？
 - RAID0は冗長性がないため整合性チェックができません。

【?] キャッシュモードをライトバックに設定できない

(N8403-026 RAIDコントローラ実装時)

- Web BIOSのVirtual Disks—Properties画面のPolicies欄の「Write」は、RAIDコントローラのキャッシュモード(現在値)を表示します。N8403-026 RAIDコントローラには増設バッテリーのオプションがありませんので、通常ライトバックを設定してもライトスルーとして動作します。
キャッシュモードについての説明は、2章 ハードウェア編のRAIDシステムのコンフィグレーションの章を参照してください。

【?] ハードディスクドライブが故障した

- 契約されている保守サービス会社、または購入された販売店へ連絡してください。

【?] 正しいDVD/CD-ROMを挿入したのに以下のメッセージが表示される

DVD/CD-ROMが挿入されていないか、誤ったDVD/CD-ROMが挿入されています。
正しいDVD/CD-ROMを挿入してください。

OK

- ☐ DVD/CD-ROMのデータ面が汚れていたり、傷ついていたりしていませんか？
 - 光ディスクドライブからDVD/CD-ROMを取り出し、よごれや傷がないことを確認してから、再度DVD/CD-ROMをセットし、[OK]をクリックしてください。

【?] DVD/CD-ROMにアクセスできない

- ☐ DVD/CD-ROMディスクの表裏を間違えてセットしていませんか？
 - トレイからDVD/CD-ROMディスクを取り出し、DVD/CD-ROMディスクのトップレーベルを上にして、セットし直してください。
- ☐ DVD/CD-ROMディスクに汚れやキズがありませんか？
 - DVD/CD-ROMディスクの表面に指紋などの汚れやキズがないことを確認してください。汚れがある場合は、DVD/CD-ROMディスクの表面をクリーニングしてください。それでも読み込みができない場合は、アクセスが可能だった別のDVD/CD-ROMディスクに入れ替えて、再度、読み込みができるかどうか確認してください。

- ☐ DVD/CD-ROMディスクがクローズされた状態になっていますか？
 - セッションをクローズした状態にするかディスクを閉じた状態にして再度、読めるかどうか確認してください。
- ☐ 書き込みドライブに適合した書き込みソフトで書き込みしましたか？
 - 書き込みドライブ、書き込みソフトの組み合わせが正しくない場合は、iStorage NSシリーズに搭載の光ディスクドライブで読み込めないことがあります。

[?] OSの動作が不安定

- ☐ システムのアップデートを行いましたか？
 - OSをインストールした後にネットワークドライバをインストールすると動作が不安定になることがあります。208ページを参照してシステムをアップデートしてください。

[?] 障害発生時、「自動的に再起動する」の設定で、設定どおりに動作しない

- 障害発生時に「自動的に再起動する」の設定にかかわらず、自動的に再起動する場合や再起動しない場合があります。再起動しない場合は、手で再起動してください。

[?] ブルー画面で電源OFFができない

- ブルー画面で電源をOFFにする時は、強制電源OFF(強制電源OFF: POWERスイッチを4秒間押し続ける)を行ってください。一度押しでは電源はOFFになりません。

[?] ネットワーク上で認識されない

- ☐ ケーブルを接続していますか？
 - ネットワークケーブルの接続状態を確認してください。また、使用するケーブルがネットワークインタフェースの規格に準拠したものであることを確認してください。
- ☐ BIOSの設定を間違えていませんか？
 - ExpressサーバのBIOSセットアップユーティリティで内蔵のLANコントローラを無効にすることができます。BIOSセットアップユーティリティで設定を確認してください。
 <確認するメニュー>:「Advanced」→「PCI Configuration」→「Embedded NIC (Dual Gbit)」→「LAN #1 Option ROM Scan」、
 「LAN #2 Option ROM Scan」>
- ☐ プロトコルやサービスのセットアップを済ませていますか？
 - 専用のネットワークドライバをインストールしてください。また、TCP/IPなどのプロトコルのセットアップや各種サービスが確実に設定されていることを確認してください。

□ 転送速度の設定を間違えていませんか？

- CPUブレードに標準で装備されている内蔵のLANコントローラは、転送速度が1Gbpsか100Mbps、10Mbpsのいずれかのネットワークで使用することができます。この転送速度の切り替え、または設定はOS上から行えますが、「自動検出」という機能は使用せず、運用しようとしている転送速度に設定してください。また、接続しているHubと転送速度やデュプレックスモードが同じであることを確認してください。
- ただし、Wake On LAN機能を使用する場合は、リンク速度とデュプレックスモードの設定を[自動検出(Auto)]に設定する必要があります。

【?】 Webブラウザからリモートマネジメント機能を利用する際のログイン名/パスワードを忘れてしまった

- ログイン名やパスワード設定を忘れてしまった場合には、以下の手順でパスワードを含む各設定を工場出荷時の状態に戻すことができます。



本体装置にバンドルされている管理ソフトESMPRO/ServerAgent Extensionを使用している場合は、ESMPRO/ServerAgent Extensionで設定したリモートマネジメント機能の設定項目も本操作を行うとクリアされます。本操作を行う前に、ESMPRO/ServerAgent ExtensionもしくはEXPRESSBUILDERのツールメニューにあるシステムマネジメントで、リモートマネジメント機能の設定情報のバックアップを行ってください。

- (1) CPUブレードからEXPRESSBUILDERを起動する。
- (2) 「Tool menu (Normal mode)」－「Japanese」を選択する。
- (3) 「System Management」を選択する。
- (4) 「BMC設定の初期化」を選択する。
- (5) CPUブレードの電源をOFFする。
- (6) CPUブレードをブレード収納ユニットから取り外す。
- (7) 30秒以上経過した後、CPUブレードを取り付ける。

[?] Telnetサービスがインストールされていない

- コンピュータ名を14文字以下にして、<Telnetサービスのインストール手順>に従ってTelnetサービスをインストールしてください。

<Telnetサービスのインストール手順>

- (1) スタートメニューから[ファイル名を指定して実行]をクリックする。
- (2) [名前]ボックスに「tlntsvr /service」と入力し、[OK]をクリックする。
- (3) スタートメニューから[コントロールパネル]-[管理ツール]-[サービス]を開き、サービスの一覧にTelnetサービスが登録されていることを確認する。

* Telnetサービスのインストール後は、コンピュータ名を15文字以上に設定しても問題ありません。

[?] /3GBスイッチ使用時、OSが起動しない

/3GBスイッチ使用時、OSが起動しなくなる場合があります。

その場合は以下のURLを参照し、/uservaスイッチを使用してユーザーモードの領域を適切な値に調整してください。

<http://support.microsoft.com/kb/316739/ja>

[?] システム起動時に、システムイベントログに次のような内容のエラー、および警告が記録される場合がある

イベントID : 11

ソース : iANSMiniport

種類 : 警告

説明:次のアダプタリンクは接続されていません。

Intel ~

イベントID : 13

ソース : iANSMiniport

種類 : 警告

説明 : Intel ~ がチームで無効化されました。

イベントID : 16

ソース : iANSMiniport

種類 : 警告

説明 : [チーム名]、最後のアダプタはリンクを失いました。

ネットワークの接続が失われました。

イベントID : 22

ソース : iANSMiniport

種類 : 警告

説明 : プライマリアダプタは次のプローブを検出ませんでした。

Intel(R) ~原因でチームが分割されている可能性があります。

- ネットワークアダプタでチームを設定した場合、システム起動時に上記のイベントログが記録されますが、LAN ドライバの動作上問題ありません。

【?】 システム起動時に、システムイベントログに次のような内容の警告が記録される場合がある

イベントID : 27
ソース : e1qexpress
種類 : 警告

説明 : Intel(R) 82576 Gigabit Dual Port Server Network ...
Network link has been disconnected.

イベントID : 37
ソース : ixgbn
種類 : 警告

説明 : Intel(R) 82599 10 Gigabit Dual Port Backplane Co...
このカードで利用できるPCI-Expressの帯域は、最適なパフォーマンスを実行するために十分ではありません。
最適なパフォーマンスには、x8 PCI-Expressスロットが必要です。

イベントID : 27
ソース : ixgbn
種類 : 警告

説明 : Intel(R) 82599 10 Gigabit Dual Port Backplane Co...
ネットワーク リンクが切断されました。

→ システム起動時に記録される場合、システム動作上問題ありません。

【?】 システム時刻がずれる

→ NTP (Network Time Protocol) サーバなど、時刻を調整するサーバを利用しない場合、実時刻に対してシステム時刻がずれることがあります。
この場合は、NTPサーバを利用するか、Windows Timeサービスを無効に設定してください。

【?】 N8403-026 RAIDコントローラ実装時において、運用中に以下のようなイベントログが登録される場合がある

イベントソース : msas2k3
イベントID : 129
種類 : 警告

説明 : イベントID(129) (ソース:msas2k3内) に関する説明が見つかりませんでした。
(以降省略)

→ 本メッセージがログに登録されても、OSでリトライに成功しているため問題はありません。そのままご使用ください。

[?] N8403-026 RAIDコントローラ実装時において、運用中に以下のようなイベントログが登録される場合がある

イベントソース : Raidsrv
 イベントID : 317(8000013D)
 種類 : 警告

説明 : <RU0317>[CTRL: XX PD:XX(XX) XX XX] 物理デバイスで警告エラーが発生しました。エラーコード : XX

- 運用中に上記メッセージが登録される場合がありますが、単発^(*)で発生している場合はリトライが成功しているため問題ありません。本メッセージが繰り返し登録される場合には物理デバイスの故障などが考えられます。契約されている保守サービス会社、または購入された販売店へ連絡してください。

(*)「単発」とはここでは単位時間を示します。本メッセージは単位時間あたり20個ほど登録される場合があります。複数登録されている場合はメッセージが登録された時間を確認してください。

EXPRESSBUILDERについて

[?] EXPRESSBUILDERから本装置を起動できない

EXPRESSBUILDERから起動できない場合は、次の点について確認してください。

- システムBIOSの起動デバイスが正しく設定されていない可能性があります。正しく設定できているか確認してみてください。
- POSTを実行中にEXPRESSBUILDERをセットし、再起動しないとエラーメッセージが表示されたり、OSが起動したりします。

オートランで起動するメニューについて

[?] オンラインドキュメントが読めない

- ☐ Adobe Readerが正しくインストールされていますか？
 - オンラインドキュメントの文書の一部は、PDFファイル形式で提供されています。あらかじめAdobe Readerをインストールしておいてください。
- ☐ 使用しているOSは、Windows XP SP2ですか？

- SP2にてオンラインドキュメントを表示しようとする、ブラウザ上に以下のような情報バーが表示されることがあります。

「セキュリティ保護のため、コンピュータにアクセスできるアクティブコンテンツは表示されないよう、Internet Explorerで制限されています。オプションを表示するには、ここをクリックしてください...」

この場合、以下の手順にてドキュメントを表示させてください。

- (1) 情報バーをクリックする。

ショートカットメニューが現れます。

- (2) ショートカットメニューから、「ブロックされているコンテンツを許可」を選択する。

「セキュリティの警告」ダイアログボックスが表示されます。

- (3) ダイアログボックスにて「はい」を選択。

【?】メニューが表示されない

- ☐ ご使用のOSは、Windows XP以降、またはWindows 2003以降ですか？
 - 本プログラムは、Windows XP以降またはWindows 2003以降のオペレーティングシステムにて動作させてください。
 - Windows 2000の場合は、あらかじめIE6.0をインストールしてください。
- ☐ <Shift>キーを押していませんか？
 - <Shift>キーを押しながらディスクをセットすると、オートラン機能がキャンセルされます。
- ☐ OSの状態は問題ありませんか？
 - レジストリ設定やディスクをセットするタイミングによっては、メニューが起動しない場合があります。そのような場合は、エクスプローラから「マイコンピュータ」を選択し、セットした光ディスクドライブのアイコンをダブルクリックしてください。

【?】メニュー項目がグレイアウトされている

- ☐ ご使用の環境は正しいですか？
 - 実行するソフトウェアによっては、管理者権限が必要だったり、本装置上で動作することが必要だったりします。適切な環境にて実行するようにしてください。

【?】「Can not open the Autorun menu.」というメッセージが表示される

- ☐ ご使用の環境は正しいですか？
 - オペレーティングシステムが英語バージョンの場合、メニューは起動しません。日本語バージョンのオペレーティングシステムにて動作させてください。

システム診断・保守ツールについて

システム診断や保守ツールの実行中にエラーメッセージや警告メッセージが表示された場合は、速やかに保守サービス会社までエラーやメッセージの内容を連絡し、保守を依頼してください。

その他のアプリケーションについて

EXPRESSBUILDERに各種オンラインドキュメントが収録されています。オンラインドキュメントを参照してください。

オペレーティングシステム (OS) の再インストール

OSの再インストールは以下の手順で行ないます。

- 再インストールのための準備
- iStorage NS500BaバックアップDVD-ROMを用いたインストール
- iStorage NSの起動
- 確認と設定

再インストールのための準備

以下のものをあらかじめ準備してください。

- 装置添付の「iStorage NS500BaバックアップDVD-ROM」
- 装置添付のスタートアップガイド
- 装置添付の「EXPRESSBUILDER」CD-ROM（必要に応じて）
- ディスプレイ、キーボード、マウス（必要に応じて）

<注意>

- 本装置は、標準でRAIDコントローラが接続されています。出荷時には、2 台のハードディスクでRAID 1 構成になっています。再インストール時には、この2 台のハードディスクのみが本装置に接続されている状態で行ってください。
- OS領域のRAIDシステムを新たに構築する場合は、第6章「RAIDシステムのコンフィグレーション」を参照してRAIDシステムを構築後、OSの再インストールを行ってください。
- 再インストールを行う際に誤った手順を実行すると、ハードディスク上のドライブがすべて削除される危険性がありますので、再インストール作業の前に、必ず必要なデータを外付けバックアップ装置などにバックアップしてください。
- OS再インストールは、本装置にキーボード、ディスプレイ、マウスを接続して行うか、またはリモートKVM経由で行うこともできます。リモートKVMの接続については、「EXPRESSSCOPE2エンジンユーザズガイド」を参照してください。
- BIOSセットアップユーティリティの [Boot] メニューで、光ディスクドライブの起動順位が最上位になっていることをご確認ください。
- 再インストール時には必ずLANケーブルを接続してください。使用できるポートに関しては、本装置に添付のスタートアップガイドをご参照ください。

iStorage NS500BaバックアップDVD-ROMを用いたインストール



この手順は、本装置に接続されている増設HDDブレード、外部ディスク装置等を取り外し、OS領域のハードディスクのみが接続されている状態で行ってください。

1. 本装置の電源をONにし、光ディスクドライブに「iStorage NS500BaバックアップDVD-ROM」をセットします。
2. 起動メニューが表示されますが、何もキーを押下せずにそのまま処理を続行してください。OS再インストールが自動で開始されます。
3. OS再インストールが終了すると、以下のメッセージを表示後にプロンプトに戻ります。
`Progress: 100%.`
`Successfully applied image.`
4. `exit` と入力し、`enter`キーを押下します。
5. コマンドプロンプトが終了したら、光ディスクドライブから iStorage NS500BaバックアップDVD-ROM を取り出し、本装置の電源をOFFにします。

iStorage NSの起動

ハードウェアの接続

再インストール前に外したディスク等を接続して電源をONにします。ミニセットアップ後、OS が起動します。第2章「セットアップ」を参照して初期設定を行ってください。

確認と設定

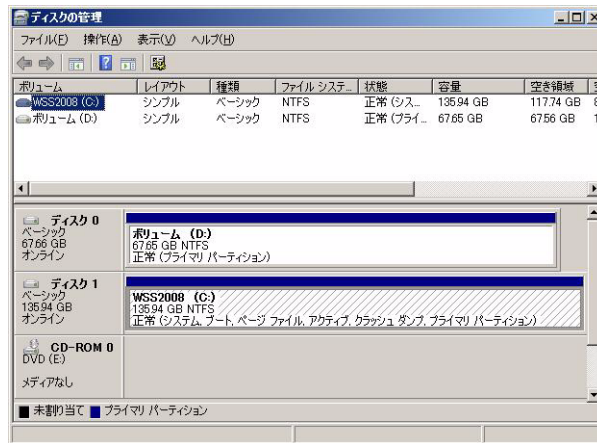
次に説明する確認と設定を行ってください。

本装置へのログオン

管理PCよりリモートデスクトップ等を起動し、iStorage NSに接続します。
管理者権限を持ったユーザー名とパスワードを用いて本装置へリモートログオンします。
管理者のユーザー名とパスワードはあらかじめ設定されています。装置添付のスタートアップガイドを参照してください。

ディスクの管理での確認 — ドライブレターの変更 —

管理者メニューの[ディスクの管理]をクリックして、[ディスクの管理]画面を表示します。必要に応じてドライブレターを変更してください。



ドライブ容量は構成するディスクの容量で異なります。

ユーザー領域について


ユーザー領域が2TB以上あると、ディスク内が分割して表示されます。これはMBRディスクが2TBまでしかサポートしないためです。2TB以上のディスクを扱いたい場合は、ディスクをGPTディスクに変換してください。

以上で再インストール手順は終了です。

移動と保管

CPUブレードやハードディスクドライブ、ブレード収納ユニットを移動・保管するときは次の手順に従ってください。


警告



装置を安全にお使いいただくために次の注意事項を必ずお守りください。人が死亡する、または重傷を負うおそれがあります。詳しくは、iii ページ以降の説明をご覧ください。

- 自分で分解・修理・改造はしない
- リチウムバッテリーを取り外さない
- プラグを差し込んだまま取り扱わない

注意



装置を安全にお使いいただくために次の注意事項を必ずお守りください。火傷やけがなどを負うおそれや物的損害を負うおそれがあります。詳しくは、iii ページ以降の説明をご覧ください。

- 3人以下で持ち上げない
- 指定以外の場所に設置しない
- 電源ONのままインタフェースケーブルの取り付けや取り外しをしない



- フロアのレイアウト変更など大掛かりな作業の場合はお買い上げの販売店または保守サービス会社に連絡してください。
- ハードディスクドライブに保存されている大切なデータはバックアップをとっておいてください。
- ハードディスクドライブを内蔵している場合はハードディスクドライブに衝撃を与えないように注意して本体を移動させてください。
- 再度、運用する際、内蔵機器や本体を正しく動作させるためにも室温を保てる場所に保管することをお勧めします。
装置を保管する場合は、保管環境条件（温度：-10℃～55℃、湿度：20%～80%）を守って保管してください（ただし、結露しないこと）。

<ブレード収納ユニットにデバイスを搭載したまま移動・保管する場合>

1. 搭載しているすべてのCPUブレードの電源をOFFにする。
2. ブレード収納ユニットの電源をOFFにする。
3. ブレード収納ユニットの電源コードをコンセントから抜く。
4. CPUブレードやブレード収納ユニットに接続しているケーブルをすべて取り外す。
5. 4人以上でラックからブレード収納ユニットを取り出す。
6. 4人以上でブレード収納ユニットに取り付けてあるハンドルを持って運ぶ。

7. ブレード収納ユニットに傷がついたり、衝撃や振動を受けたりしないようしっかりと梱包する。

<ブレード収納ユニットにデバイスを搭載したまま移動・保管する場合>

ハードウェア編で記載されている取り付け/取り外し手順に従ってデバイスをブレード収納ユニットから取り外し、購入時に入っていた袋や梱包箱に入れて、移動・保管してください。



輸送後や保管後、装置を再び運用する場合は、運用の前にシステム時計の確認・調整をしてください。

システム時計を調整しても時間の経過と共に著しい遅れや進みが生じる場合は、お買い求めの販売店、または保守サービス会社に保守を依頼してください。本装置および、内蔵型のオプション機器は、寒い場所から暖かい場所に急に持ち込むと結露が発生し、そのまま使用すると誤作動や故障の原因となります。装置の移動後や保管後、再び運用する場合は、使用環境に十分なじませてからお使いください。

ユーザーサポート

アフターサービスをお受けになる前に、保証およびサービスの内容について確認してください。

保証について

本製品には『保証書』が添付されています。『保証書』は販売店で所定事項を記入してお渡ししますので、記載内容を確認のうえ、大切に保管してください。保証期間中に故障が発生した場合は、『保証書』の記載内容にもとづき無償修理いたします。詳しくは『保証書』およびこの後の「保守サービスについて」をご覧ください。保証期間後の修理についてはお買い求めの販売店、最寄りのNECまたは保守サービス会社に連絡してください。



- NEC製以外（サードパーティ）の製品、またはNECが認定していない装置やインタフェースケーブルを使用したために起きた装置の故障については、その責任を負いかねますのでご了承ください。
- CPUブレードのトレイの内側に貼り付けられているラベルにSERIAL No.（製造番号）が記載されたラベルが貼られています。ブレード収納ユニットでは、前面側の電源ユニット（スロット4）付近に貼り付けられているラベルにSERIAL No.（製造番号）が記載されています。販売店にお問い合わせする際にこの内容をお伝えください。
また銘板の製造番号と保証書の保証番号が一致していませんと、装置が保証期間内に故障した場合でも、保証を受けられないことがありますのでご確認ください。万一違う場合は、販売店にご連絡ください。

修理に出される前に

「故障かな？」と思ったら、以下の手順を行ってください。

1. 電源コードおよび他の装置と接続しているケーブルが正しく接続されていることを確認します。
2. 「障害時の対処（213ページ）」を参照してください。該当する症状があれば記載されている処理を行ってください。
3. システムを運用するために必要となるソフトウェアが正しくインストールされていることを確認します。
4. 市販のウィルス検出プログラムなどで本製品をチェックしてみてください。

以上の処理を行ってもなお異常があるときは、無理な操作をせず、お買い求めの販売店、最寄りのNECまたは保守サービス会社にご連絡ください。その際に本製品のランプの表示やディスプレイ装置のアラーム表示もご確認ください。故障時のランプやディスプレイによるアラーム表示は修理の際の有用な情報となることがあります。保守サービス会社の連絡先については、付録B「保守サービス会社網一覧」をご覧ください。なお、保証期間中の修理は必ず保証書を添えてお申し込みください。



この装置は日本国内仕様のため、NECの海外拠点で修理することはできません。ご了承ください。

修理に出される時は

修理に出される時は次のものを用意してください。

- ☐ 保証書
- ☐ ディスプレイ装置に表示されたメッセージのメモ
- ☐ 障害情報（障害情報は保守サービス会社から指示があったときのみ用意してください。）
- ☐ 本体・周辺機器の記録

補修用部品について

本装置の補修用部品の最低保有期間は、製造打ち切り後5年です。

保守サービスについて

保守サービスは弊社の保守サービス会社、および弊社が認定した保守サービス会社によってのみ実施されますので、純正部品の使用はもちろんのこと、技術力においてもご安心の上、ご都合に合わせてご利用いただけます。

なお、お客様が保守サービスをお受けになる際のご相談は、弊社営業担当または代理店で承っておりますのでご利用ください。保守サービスは、お客様に合わせて2種類用意しております。

保守サービスメニュー

契約保守サービス	お客様の障害コールにより優先的に技術者を派遣し、修理にあたります。この保守方式は、装置に応じた一定料金で保守サービスを実施させていただくもので、お客様との間に維持保守契約を結ばさせていただきます。さまざまな保守サービスを用意しています。詳しくはこの後の説明をご覧ください。
未契約修理	お客様の障害コールにより、技術者を派遣し、修理にあたります。保守または修理料金はその都度精算する方式で、作業の内容によって異なります。

NECでは、お客様に合わせてさまざまな契約保守サービスを用意しております。

サービスの詳細については、

「iStorage NS サポート情報（<http://support.express.nec.co.jp/istorage/index.php>）」をご覧ください。



- サービスを受けるためには事前の契約が必要です。
- サービス料金は契約する日数/時間帯により異なります。

情報サービスについて

本製品に関するご質問・ご相談は「ファーストコンタクトセンター」でお受けしています。

※ 電話番号のかけまちがいが増えております。番号をよくお確かめの上、おかけください。

ファーストコンタクトセンター
TEL. 03-3455-5800（代表）

受付時間／9:00～12:00、13:00～17:00 月曜日～金曜日（祝祭日を除く）

お客様の装置本体を監視し、障害が発生した際に保守拠点からお客様に連絡する「エクスプレス通報サービス/エクスプレス通報サービス(HTTPS)」の申し込みに関するご質問・ご相談は「エクスプレス受付センター」でお受けしています。

※ 電話番号のかけまちがいが増えております。番号をよくお確かめの上、おかけください。

エクスプレス受付センター
TEL. 0120-22-3042

受付時間／9:00～17:00 月曜日～金曜日（祝祭日を除く）

インターネットでも情報を提供しています。

【NEC コーポレートサイト】 <http://www.nec.co.jp/>

製品情報やサポート情報など、本製品に関する最新情報を掲載しています。

<http://club.express.nec.co.jp/>

『Club Express』：『Club Express会員』への登録をご案内しています。iStorage NSシリーズをご利用になる上で役立つ情報サービスの詳細をご紹介します。

<http://www.fielding.co.jp/>

NECフィールディング（株）ホームページ：メンテナンス、ソリューション、用品、施設工事などの情報をご紹介します。